

## 2008 年度前期 学科教育改善委員会 (FD 研修会) 議事録

1. 開催日時：平成 20 年 9 月 24 日 (水) 10:00-12:00 13:00-14:40

2. 開催場所：S2 棟 3F 会議室

3. 出席者：安原一哉，福沢公夫，小柳武和，沼尾達弥，呉智深，井上涼介，金利昭，山田稔，小峯秀雄，横木裕宗，寺内美紀子，原田隆郎，桑原祐史，信岡尚道，村上哲，藤田昌史，田坂幹雄 (土木行政非常勤講師)，田名部菊次郎 (技術員)，金澤浩明 (技術員)，木村亨 (技術員)，石川比奈子 (事務補佐員)

(順不同,敬称略)

### 1)開会の挨拶 (安原)

継続が重要。しっかりと議論して今後に備えましょう。

### 2)前期学科各科目の点検と評価(1)

#### 力学 (原田先生)

・高校の物理と数学の履修状況により若干ついてこれない学生もいたが、昨年と比較すると成績が良い。

< 議論内容 >

授業時間帯設定の工夫が必要 (接続教育、力学授業の授業順など)

数学のクラスによる授業内容を工夫してみては？

#### 情報処理概論 (原田先生)

- ・ 成績評価の方法を変更した。当初の基準を下げたのか？
- ・ 学生の心構えに少し変化 (悪い方向の) があるようである。
- ・ コメント (コメント): 一年生の教養科目は、気質を伺い知るものですので、是非後期の主題別ゼミなどで心がけておいてほしい。

#### コンクリート工学 (福澤先生)

- ・ 成績は昨年度より向上している。
- ・ 板書について議論した。口頭で聞き取った話題を、如何に認知させ、学生に書き取らせるか、これが問題である。

#### 線形代数 (村上・仁平先生)

- ・ 今年の学生は、例年に比べて反応が良い (良い意味でリアクションがよい)。計算力は、例年に比べて落ちているような感触は受けている。
- ・ 授業は楽しくやっている。

#### 都市システム工学序論 (横山他)

- ・ レポートの提出の仕方に問題がある。レポート数を調整してゆくことが課題。
- ・ もう少しシステムティックに授業を組み上げてゆくことが課題。
- ・ 無断欠席をした際には、担当教員分全部を 0 点にするような対応がされていた。これで良いのか確認を要する。
- ・ 序論の授業担当は教授である必要は無いとの指摘もある。もう一度序論の基本設計を見直した方が良い。研究分野を再度精査する必要がある。

### 応用地質学（安原）

- ・担当より昨日応答があった。
- ・毎時間学生に授業アンケートを取り、中間アンケートに変えているとのこと。
- ・学生との対話を重視しており、大変な努力をされている。
- ・「反発」や「本音」などの表現があり、学科担当が授業担当に直接の感想を伺うことになった。

### 応用数学（信岡他）

- ・既存のシラバスに併せて授業を行ってくださった。
- ・不明な点をあいまいにしないような対応を行って

くださったとのこと。

- ・スキャンの段取りをこれから調整する。

### 数理統計（山田）

- ・昨年と比較して後半の授業内容を充実した。結果、昨年度より成績分布が良い方にシフトした。
- ・確率変数の理解ができるように授業内容を工夫し、成績にその効果が表れていると判断した。
- ・来年、さらに授業内容をUPさせ、数理統計との関連を深めてゆく予定という報告があった。

### 都市システム情報処理（横木）

- ・授業の範囲はFortranの理解を目指していたが、学生の理解はアップアップの状態であった。
- ・来年は、継続の授業との連携を図るように改善したい。

### リモートセンシング・環境計測（小柳・桑原）

・専門基礎学力と環境観を配分して成績評価をしているが、各50(%)で合格点を出すわけではなく総合点で合格判定をしている。

- ・振替で学生履修があるので、環境観をフォローしておかなくてはならない。

### 構造力学（呉）

- ・正規の授業は14回、補講回数2回に修正とのこと。
- ・今年は冷房のある教室で行ったので学生の評判が良かった。成績にも反映されたかもしれない。
- ・演習問題は人のコピーの可能性が高いとの担当からの報告。
- ・欠試と不合格の欄、教育目標に対する成績評価方法、以上を確認すること。

### 水理学（信岡）

- ・試験範囲のヒントを与えたにも関わらず、その内容を学習していない学生がいた。
- ・教育目標別に、達成していない学生がいた。
- ・すぐキレル、という指摘があるが、騒いでいることに対する注意なので学生が悪いという判断ができるとのこと。

- ・30分以上の遅刻は認めないが、時間は厳密には決めていない。

・FD研修会は役立っていないとのコメントがあるが、役立ててもらおうきっかけを作ってほしいとのコメントが司会者からあった。

### 土の力学（安原）

- ・板書とパワーポイントを併用しているが、板書の評判は悪い。
- ・課題などの返却を取りにこない学生が一部おり、このような学生は問題がある。

### 地球環境工学（三村）

- ・100番教室の環境改善は教務委員会で改修の議論はある。

- ・施設整備に対する要求は学科の意見として教務委員会に報告することになった。

#### 土木計画論演習（山田）

- ・課題の設定に関しては、学生のアンケートおよび学生懇談会で情報収集を試みるようになった。但し、この問題は学科カリキュラム全体の問題であり、適切な時期に情報収集を試みてゆくことになった。

#### 建設材料学（福澤）

- ・不合格者数が、昨年 8 人から激減（0 人）となった。

#### 土木計画論（金）

- ・担当後 3 年を経ており、内容的に厳選されたものと判断している。

#### 建設工学演習（安原）

- ・昨年の課題はかなり改善されていると判断する。
- ・課題の提出までに要する時間が短いとの指摘がある。
- ・演習科目がレポート評価で良いのか？

#### 都市システム工学製図（小柳・寺内）

- ・課題を少なくしたために成績分布が良くなった可能性がある。作業の質は TA を上手く組み合わせることで保つ工夫。
- ・課題内容の工夫、製図室・製図台の整備、以上が今後の課題となる。物理的な改善のため、教務委員会などで議論をお願いしたい。
- ・課題に要した時間は 10(h)-12(h)かかったとのアンケート結果がある。製図室に来にくい可能性がある。

#### 数学解析（小峯・植木先生）

- ・授業計画通りに適切に行って頂いたと考えている。
- ・都市専門科目とどのような関係があるのか、都市システム教員が紹介する必要があるとの意見があった。カリキュラム構成との関係については後日議論ということになった。

#### 生態学（藤田）

- ・担当教員着手時にはすでにカリキュラムが設定されていたが、ほぼその通り進んだ。
- ・最近の生態学のトピックを学生に調べてもらい発表してもらうことでインタラクションある授業とした。
- ・着任から間もないので学生との会話を通して現状を把握している。

#### 21 計画数理（山田）

- ・ガイダンス参加者&履修者数が少なく、少々問題がある。受講者の合格率はそこそこ高い。

#### 22 鋼構造および橋梁工学（横山）

- ・概ね良好な成果が出た。

#### 23 地震および振動工学（井上）

- ・学生は分かる授業を望んでいる。
- ・Excel ベースでの授業をしているが、他学科では Excel を教えていないので対応が難しい。

#### 24 海岸工学（横木）

- ・受講者は昨年度の 1/2 になった。2 年生の時に単位を十分に取得したことが原因か？
- ・試験は良くできていた。このため、不合格者はいなかった。

#### 25 基礎環境地盤工学（小峯）

- ・授業の中間点でモールドの課題を出すと取り止め者が出る傾向にある。
- ・「熱すぎる」というコメントがあった。注意したい。

#### 26 空間設計（小柳）

- ・資料整備を今後も進めてゆく必要がある。

#### 27 建築学概論（寺内）

- ・履修学生は、担当分の資料を読んでまとめたものを提出する必要がある。

#### 28 数値計算法（村上）

- ・受講者を増やすことが最初の目的
- ・成績は8割試験, 2割後期試験

#### 29 都市システム工学トピックス ， （原田）

- ・授業第1回目のアンケートで学生の意向を調べている。
- ・授業内容については今後の議論

#### 30 都市システム工学実験 （信岡）

- ・成績作成までにレポートを出さない学生が3名いた。
- ・学生レポートのコピーが激しく、問題がある。

#### 31 都市システム設計演習 （小柳）

- ・昨年度と比較すると、平均点は悪い法に移動した。
- ・課題の負担が大きいという学生の指摘があった。
- ・最終成果物を提出する前にチェックするプロセスが必要と考えられる。

#### 32 土木行政(小峯)

- ・受講者が年々減っている。例年は単位不足の学生が履修していた可能性がある。
- ・履修学生を増やすように学科教員の努力や工夫が望まれる。
- ・何に役立つのか、ということを学生にPR する必要がある。

#### 33 建築構造設計（沼尾）

- ・金曜日の午後は大学の行事で休講になることが多く、補講の必要性が生じた。授業計画を立てにくく、工夫が必要となった。改善してほしい。
- ・授業内容のボリュームとしては大きく、来年以降、改善する必要がある。



F D実施風景写真(2008.9.24:S2 棟 3F 会議室)